

## 稲発酵粗飼料(稲WCS)の刈り取り・調製最盛期

稲発酵粗飼料(稲WCS)は、未成熟な稲の子実と茎葉を同時に刈り取り、これをロール状に梱包した後、ラッピングした状態で乳酸発酵させた牛用の貯蔵飼料です。

府内では、平成 26 年度から耕種農家が栽培した飼料用稲を、畜産農家が収穫・調製を行う耕畜連携を進めており、現在、飼料用稲の生産面積は当初の 53ha から 108ha に増加しています。

当センターでは、農業改良普及センターとタスクチーム活動\*として、府内各地のモデルほ場 8 か所で、早生品種や高糖分型の専用品種の生育状況を調査しています。この調査により、稲WCSの粗タンパク質含量や消化率の向上を目指して、高品質生産に向けた耕畜連携会議で成果をフィードバックしていきます。

刈り取りは 8 月 4 日から 10 月上旬まで行われます。

今後も高品質な稲WCSを多くの畜産農家に供給できるよう耕畜連携を図っていきます。

※ タスクチーム活動…研究機関と普及組織が一体となり、研究成果を現地で速やかに定着させる活動



稲WCSの刈り取り・調製の様子(綾部市 8 月 23 日)